

2008 年 4 月 7 日 第 129 号



目 次

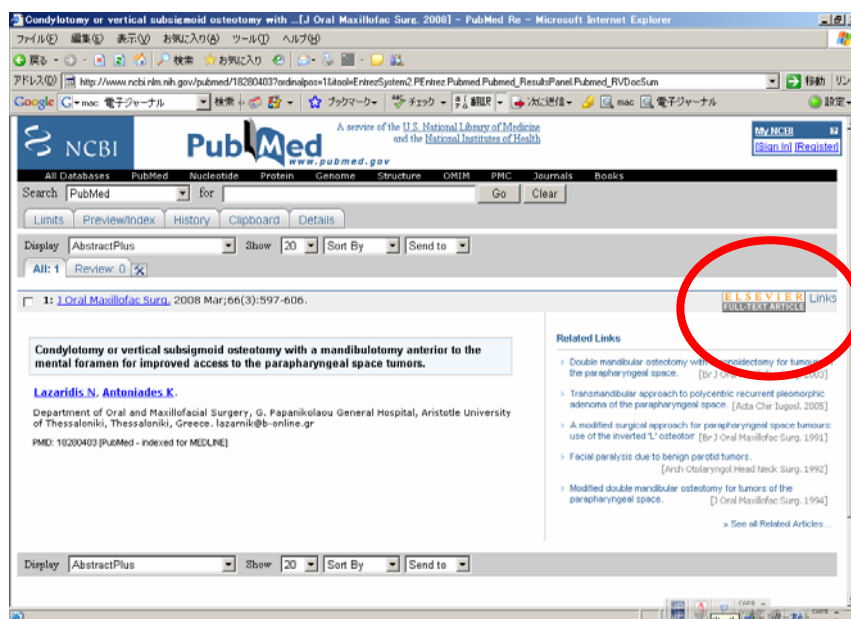
電子ジャーナルの契約と利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1-4

電子ジャーナルの契約と利用

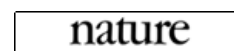
アゴラ 126 号（2007 年 6 月 26 日）で『電子ジャーナルの概要と接続方法について』と題して電子ジャーナルについて簡単に説明しました。今回は、契約や利用期間などについてももう少し詳しい説明をいたします。また、2008 年 4 月より Serials Solutions という電子ジャーナル管理ツールを導入しますので、その紹介と使い方を案内いたします。

1. はじめに

PubMed の Abstract 表示にすると出版社のフルテキストへのリンクボタンが出ている場合があります。また、医中誌でも「所蔵確認」のボタンの横にリンクボタンが出ている場合があります。これらをクリックして全文が読めるものと読めないものがあるのにお気づきの方もいると思います。ID とパスワードを求められるものもありますが、その違いにはいろいろ理由があります。次項から詳しく説明していきます。



右上にある、これがフルテキストへのリンクボタンです。



上記のように、出版社ごとにボタンが異なります。

2. 契約

本学で契約していない電子ジャーナルの利用はできません。契約していても、その契約内容によっては利用に制限があります。まずは契約内容について説明します。

電子ジャーナル契約の場合、出版社やタイトルによって価格設定や契約内容は異なっています。

電子ジャーナル（EJ）の契約形態は以下の3つに分けられます。

- ① 冊子体＋無料 EJ
- ② 冊子体＋有料 EJ
- ③ EJ のみ

タイトルによって、①②③の3本立ての価格設定もあれば、②③の価格設定もあります。価格は、①冊子体＋無料 EJ を100%とすると、②冊子体＋有料 EJ は110-120%、③EJ のみでは80-100%の価格になっています。本学では①の契約が多くなっています。少しでも価格を抑え、より多くのタイトルを契約・提供するためです。

契約形態による価格設定だけでなく、FTE（Full-time Equivalent）という機関の構成員の人数や、機関の規模（tier）による価格設定もあります。

また同時アクセス数による価格設定もあり、そのタイトルに契約数を超えるアクセスがあった場合は利用できません。同時アクセス数に制限がある電子ジャーナルが利用できないときは、時間をおいてからアクセスしてください。

3. 利用期間

契約している電子ジャーナルのすべての巻号にアクセスし利用できるとは限りません。利用できる期間（巻号）は、契約内容により変化します。「200x 年から」などのような特定の年から利用できるタイプや、「本年度のみ」利用することができるタイプ、「今年＋4 年分」などのように利用期間が年を経るごとに変化するローリング方式などがあります。

・バックファイル

バックファイルとは、現在刊行している巻号より以前の巻号のことですが、このバックファイルの利用には追加料金が必要となる場合が多くあります。先ほどの利用期間が「本年度のみ」などはバックファイルを利用することはできません。「今年＋4 年分」のようなローリング方式の契約の場合、2008 年から契約した場合、その年は4年前の2004-2008 年が利用期間となりますが、翌 2009 年には 2005-2009 年となります。2013 年の契約時は2008-2013 年となります。これは2008 年から購読をしていたため、アクセスが保障されているからです。

このように、契約していてもタイトルによって利用期間が異なります。

・アーカイバルアクセス

購読を中止した後、冊子体の場合は、図書館にその冊子体は残りますが、電子ジャーナルの場合、アーカイバルアクセス権が必要となります。アーカイバルアクセス権とは、購読中止後もアクセスできる権利のことです。購読していた巻号だから必ずしもアクセスが保障されるものではありません。各出版社によってその方針や対応は様々です。


- ・ 購読中止後は一切アクセスすることができない
- ・ 購読していた巻号のみアクセスすることが可能
- ・ アーカイブにアクセスするために別途費用が必要

4. フリーアクセス電子ジャーナル

電子ジャーナルには無料で提供・公開されている電子ジャーナルがあります。フリーアクセス電子ジャーナルやオープンアクセスなどと呼ばれています。

フリーアクセス電子ジャーナルには、次のような種類があります。

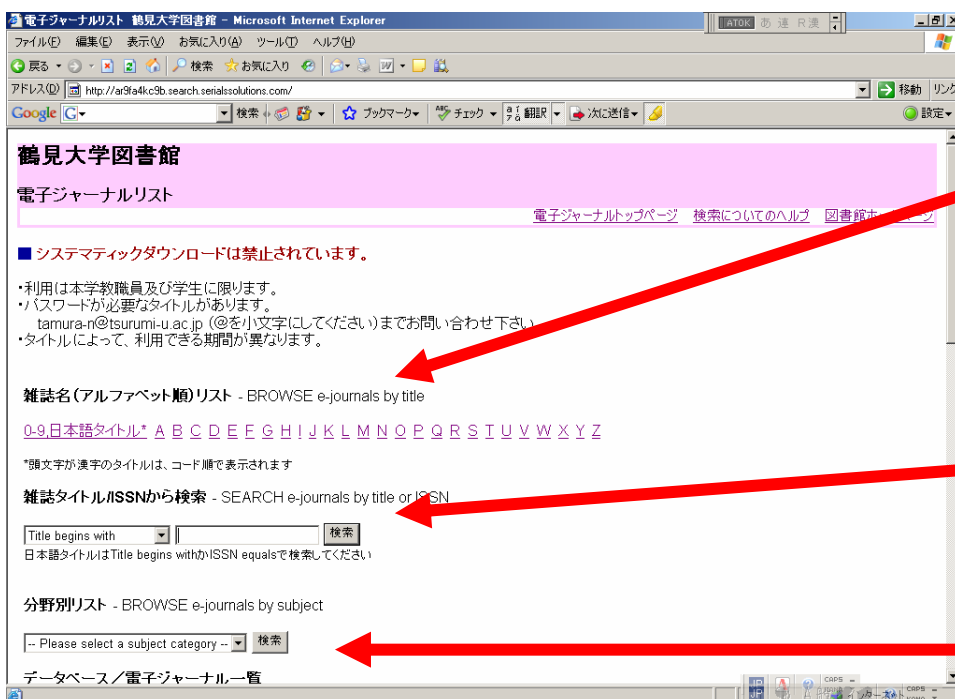
- ・ 最初から無料で公開される
- ・ 刊行後一定期間経過した号を公開する
- ・ 論文著者が出版料を支払うことでその論文が即時無料公開される

PubMed で検索すると左端にこのようなアイコン () が出てきます。この2つのアイコンがついている論文は、図書館で購読していないタイトルの論文でも無料でフルテキストを閲覧することができます。フルテキストへのリンクボタンをクリックして利用してください。

図書館サイトにある「電子ジャーナル」リストにも購読している電子ジャーナル以外にフリーアクセス電子ジャーナルを載せています。

5. Serials Solutions

今回導入した Serials Solutions (シリアルズ・ソリューションズ) 360Core(旧サービス名 Serials Solutions AMS) は、電子ジャーナルポータルサイトとして、電子ジャーナルリストを提供する管理ツールです。今までにない機能としては、雑誌名・ISSN による検索が可能になりました。雑誌名による検索は略称での検索にも対応しています。また、分野別に雑誌リストが表示されるようになりました。



リスト

電子ジャーナルをアルファベット順にリスト。頭文字が漢字のタイトルはコード順。

タイトル/ISSN 検索

タイトル名・略称・ISSN で検索可能。

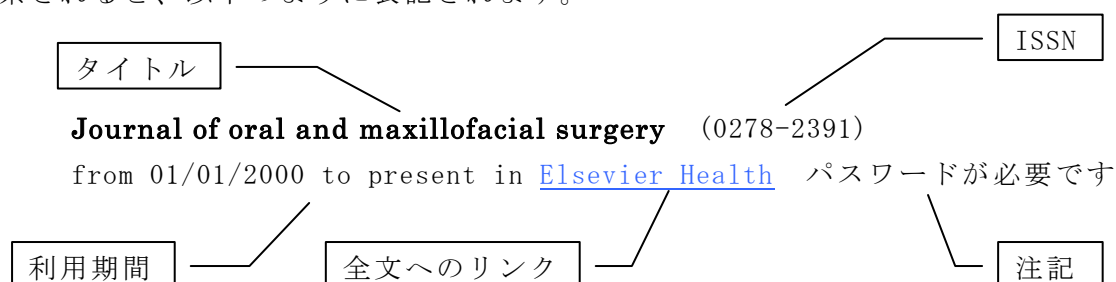
分野別雑誌リスト

例えば、「Journal of oral and maxillofacial surgery」というタイトルの電子ジャーナルを見たい場合、

- ・ 「J」のリストから探す
 - ・ タイトル名「Journal of oral and maxillofacial surgery」で検索
 - ・ 略称「J oral maxillofac surg」で検索
 - ・ ISSN「0278-2391」で検索
 - ・ 分野 Health & Biological Sciences — Dentistry — Dentistry-General から探す
- これら5つの方法から探し出すことができます。

タイトル/ISSN 検索では、プルダウンメニューから、「Title begins with」、「Title equals」、「Title contains all words」、「ISSN equals」を検索方法に合わせて選んで検索してください。

検索されると、以下のように表記されます。



「注記」には、特殊な利用期間やパスワードの有無、アクセス数などの注意事項が書かれています。確認の上、利用してください。

Serials Solutions について、いくつか注意があります。分野別リストは機械的に分野を分けているため、正確ではないので注意が必要です。またタイトル中の the や of などの単語が stop word になっていないため、リストで探す際は注意してください。現在、日本語タイトルについては頭文字が漢字のタイトルは、五十音順やアルファベット順には並んでおらず、文字コード順に並んでいます。しかし、2008年夏を目途に unicode への対応を強化したアップデートを行い、日本語タイトルは五十音順になると Serials Solutions から報告を受けています。より一層使いやすくなると思われます。

6. おわりに

PubMed などからの全文へのリンクは図書館の契約内容や制限を反映しているわけではありません。全文が利用できない場合には、文献複写を依頼する前に、図書館サイトにある電子ジャーナルリストでの確認をお願いします。また冊子のみで購読している雑誌もありますので、OPAC で検索して所蔵を確認してください。パスワードが必要な電子ジャーナルもあります。その他不明な点がございましたら、図書館 (watanabe-m@tsurumi-u.ac.jp) までお問い合わせください。

アゴラー 鶴見大学図書館報 — 第 129 号 2008 年 4 月 7 日発行

編集・発行 鶴見大学図書館

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3 Tel:045-580-8274 Fax:045-584-8197

鶴見大学図書館ホームページ <http://library.tsurumi-u.ac.jp/library/>